

ぶらり地元散策 その2

# 東海道寺院めぐり

前回に続き、地元をぶらりと散策しようと資料に目をやると、どうやら川崎駅周辺から国道15号線の約2.5kmの区域には8か所の寺院があるようです。

さてさて、今回は東海道周辺を巡ってみました。まずは京急川崎駅周辺からのスタートです。

## 1 洞宗瑞龍山宗三寺

<釈迦牟尼仏が本尊>

創建年代は不詳ですが、鎌倉時代にあった禅宗勝福寺を起源とするものと伝えられています。

川崎区砂子 1-4-3



## 2 浄土宗専修山一行寺

<京急線路沿の門を入った閻魔堂>



寛永8（1631）年に創建したといえます。

川崎区本町 1-1-5

## 3 真言宗智山派瑠璃光山真福寺

<国道沿に入った地蔵堂>

江戸時代に薬師信仰で栄えた寺でしたが、多摩川のあいつぐ氾濫により、戦後、久根崎から現在の堀之内に移ったそうです。

川崎区堀之内町 11-7



## 4 天台宗臨海山久遠寺

<稲毛神社の真裏に位置する大木と庭園>



什心法印（慶長元年1596年寂）が開山となり創建したといえます。

川崎区宮本町 5-5

## 5 天台宗日王山幸福寺

<市役所本庁舎裏にあるゆったりとした境内>



創建年代は不詳ですが、瓣井法印（慶長6年1602年寂）の名が過去帳に残されていたといえます。

川崎区宮本町 2-21

## 6 天台宗観光院 信州善光寺関東別院

<仲見世通り繁華街の中に位置するも入門出来ず>

観行院の創建年代等是不詳ながら慈覚大師の開基だといえます。

川崎区砂子 2-5-2



## 7 浄土宗金砂山大徳寺

＜仲見世通りの駅を背にした右側にありビルに囲まれている＞



深譽（延宝3年1675年寂）が開山となり創建したといひます。

川崎区砂子2-8-4



## 8 浄土宗一乗山教安寺

＜一乗会館の向かいに位置し唯一の鐘楼あり＞



教安寺の創建年代等是不詳ながら教安が開山となり創建したといひます。

川崎区小川町6-2

いかがだったでしょうか。

以上順番通りに参拝すると約2時間の散策ですが、日頃よく歩く界隈にも由緒ある寺院が多くあることを改めて知ることになります。

また『砂子の里資料館〔日祝休〕』と『東海道かわさき宿交流館〔月曜休〕』は旧東海道沿いにあり一見の価値があります。

4時頃から散策し、6時頃には仲見世通りやチネチッタ辺りの立ち呑み店で「人生は日々これ反省」とばかりにお釈迦様、観音様に思いをはせてみるのも宜しいかと。

しかし2杯目を口にするころには仏ごころも何処へやら。場所柄もあるので、呑み過ぎと財布の中身にはご注意ください。



散策人：当会役員「S」 資料参考サイト：「猫のあしあと」



## [作者紹介]

神谷一郎（かみや・いちろう） イラストレーター、デジタルイメージ会員、日本出版美術家連盟会員など。専修大法学部卒業後、漫画プロダクションを経て漫画家に。現在はフリーランスのイラストレーターとして、雑誌・広告・WEB等で活躍中。第35回集英社YJ新人賞、第51回講談社漫画賞などを受賞。第4回デジタルアートコンテスト佳作。著作に「マニアクサイバー」（グラフィック社刊）。

7つの  
間違い探し

＊右の絵と左の絵には相違点があるかな？（答えは16頁にあります）